

会社概要

(2019年9月30日現在)

社名 トーカロ株式会社 TOCALO Co.,Ltd.
 設立 1951年7月
 所在地(本社) 神戸市中央区港島南町六丁目4番4号
 資本金 26億5,882万3千円
 従業員数 単独 677名 連結 1,071名

子会社

日本 日本コーティングセンター株式会社
 神奈川県座間市
 中国 東華隆(広州)表面改質技術有限公司
 広東省広州市
 中国 東質隆(昆山)電子有限公司
 江蘇省昆山市
 台湾 漢泰国際電子股份有限公司
 台南市
 アメリカ TOCALO USA, Inc.
 カリフォルニア州
 インドネシア PT.TOCALO SURFACE TECHNOLOGY
 INDONESIA
 西ジャワ州カラワン県

役員

(2019年9月30日現在)

代表取締役社長 三船 法行
 専務取締役 久野 博史
 専務取締役 黒木 信之
 常務取締役 樽見 哲男
 取締役 進 英俊
 取締役 千葉 祐二
 取締役 三木 猛
 取締役 後藤 浩志
 取締役 吉積 隆幸
 取締役 小林 和也
 取締役(社外) 山崎 優
 取締役(社外) 丹波 農一
 取締役(社外) 瀧原 圭子
 取締役(社外) 鎌倉 利光
 監査役(常勤) 北秋 廣幸
 監査役(常勤・社外) 吉田 敏彦
 監査役(常勤) 小山 俊彦
 監査役(社外) 中田 琢也

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 基準日 定時株主総会については3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
 公告方法 電子公告
 公告掲載URL <https://www.tocalo.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。)

株式の状況

(2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 160,000,000株
 発行済株式の総数 63,200,000株
 (内、自己株式2,405,116株)
 単元株式数 100株
 株主数 11,082名

大株主

持株数(千株)

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 8,687
 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 4,891
 トーカロ従業員持株会 2,772
 BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) 2,673
 GOVERNMENT OF NORWAY 2,494
 トーカロ株式会社 2,405
 NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS 2,110
 西條 久美子 1,036
 広瀬 真理子 942
 RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT-CLIENT ACCOUNT 898

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

TOCALO REPORT 69

中間報告書 2019年4月1日から2019年9月30日まで

豊かな暮らしの中に、
トーカロの技術が溢れています。

TOCALO トーカロ株式会社

〒650-0047 神戸市中央区港島南町六丁目4番4号
TEL 078-303-3433



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。

TOCALO トーカロ株式会社

証券コード: 3433(東証一部)

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当社第69期中間期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の
事業の状況につきまして、ご報告申し上げます。



代表取締役社長
三船 法行

+ 中間期の連結業績について

米中貿易摩擦の激化などを背景に世界経済が減速する中、当中間期における当社グループ全体の業績は、半導体・FPD(フラットパネルディスプレイ)分野が一時的な調整局面に入っているため対前年同期で減収減益となりましたが、期初計画に対しては順調に推移しております(計画比で売上高が7.4%増、経常利益が26.0%増)。

売上高につきましては、産業機械および鉄鋼分野向け溶射加工がお客様ニーズの高まりや新皮膜の展開により好調に推移しましたが、半導体・FPD分野の溶射加工が、半導体メモリーメーカーの設備投資が先送りされている影響を受けて大きく減少したことにより、前年同期比21億48百万円(10.3%)減の187億94百万円となりました。

損益面では、生産効率の向上と一層のコスト削減に取り組みましたが、売上高の落ち込みによる減益分をカバーするまでには至らず、経常利益は前年同期比14億52百万円(29.9%)減の34億3百万円となりました。

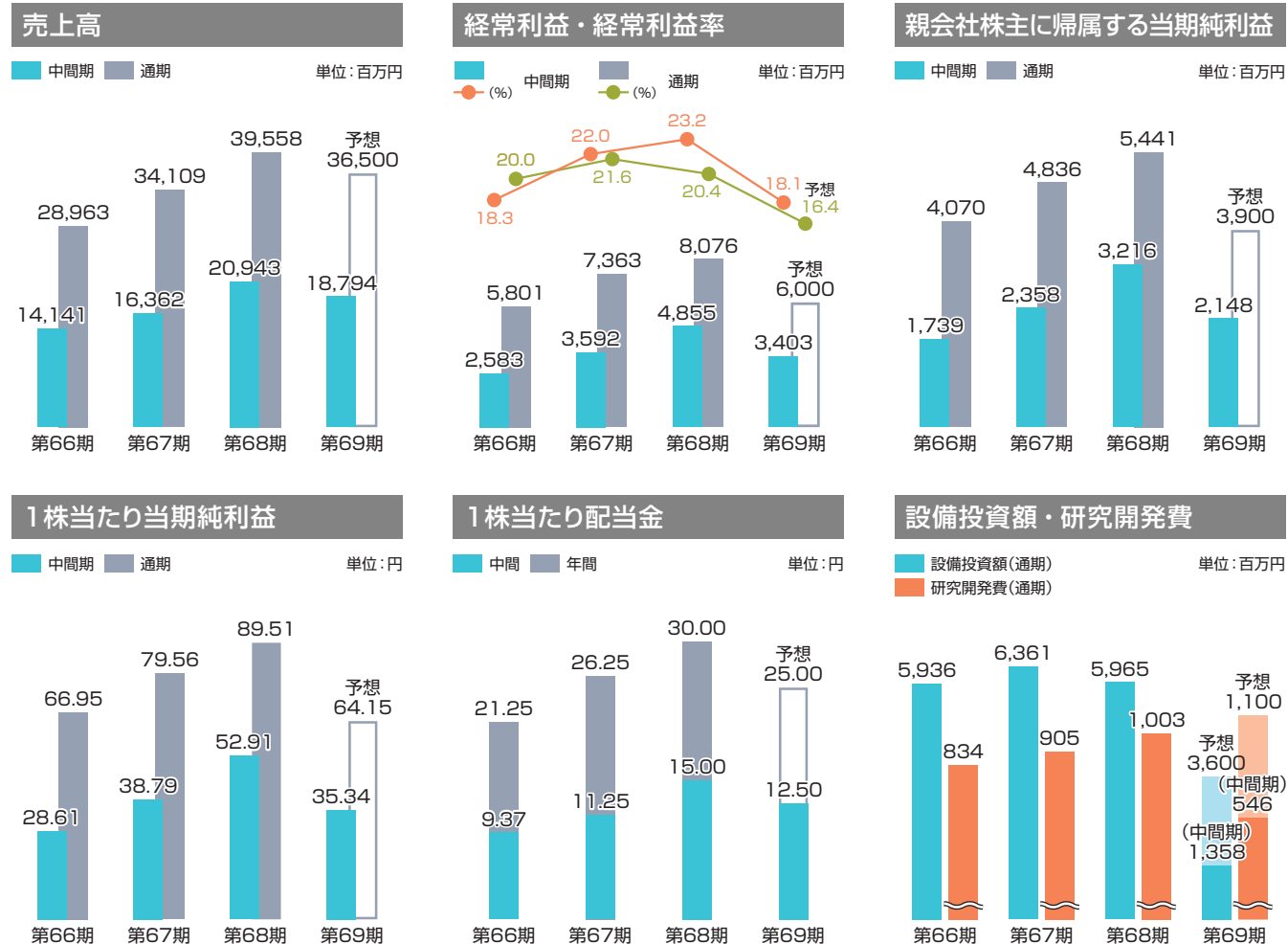
+ 今後の業績見通し、舵取りについて

現在の半導体市場は米中貿易摩擦の影響からデータセンター投資の鈍化を懸念する声もありますが、中期的には、5G通信、IoT、AI、自動運転などの技術革新により、半導体需要の重層的な拡大が予測されることから、当社は半導体製造装置向けの新皮膜開発を着実に進めてまいります。また、収益源の多角化を図るべく、新素材(高張力鋼板、高機能フィルムなど)、エネルギー・環境(ボイラ、高効率タービンなど)、輸送機(高速鉄道、航空機など)、医療(手術器具など)などの有望な新市場の開拓に向け、新技術開発を意欲的に取り組みます。

当社グループは、お客様の製造設備・装置部品の耐久性向上や長寿命化を通して省エネ・省資源に貢献できる表面改質技術を広く普及させ、地球環境負荷低減に努めてまいります。

財務ハイライト

厳しい事業環境の中、通期業績予想の達成に向けて順調に推移しています

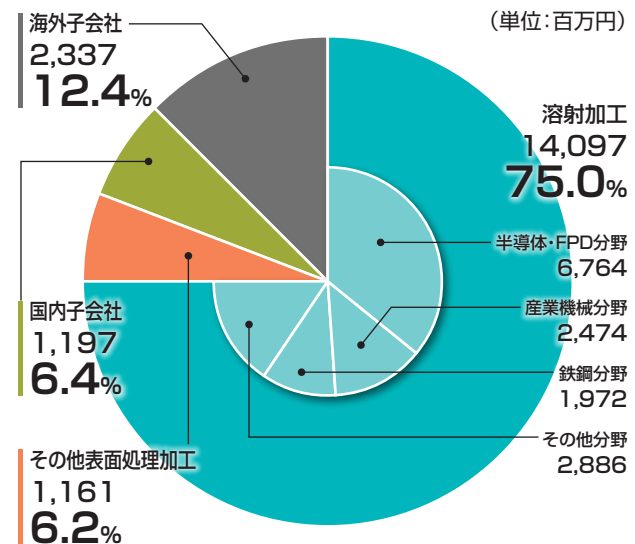


(注) 1. 通期業績予想は、2019年10月31日に上方修正いたしました。
2. 当社は、2018年3月1日付で1株につき4株の割合で株式分割を行っております。
第66期および第67期の1株当たり当期純利益および1株当たり配当金につきましては、当該株式分割を考慮した数値に換算して記載しております。

私たちの事業

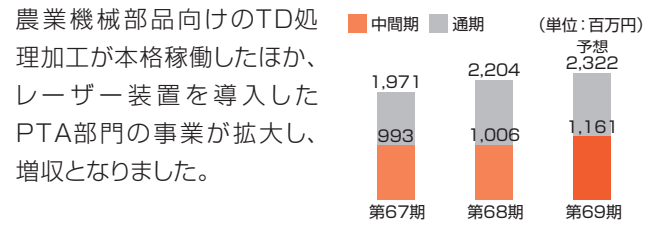
〔第69期 中間期〕

売上高 **18,794**百万円



その他表面処理加工 前年同期比 **up 15.4%**

主なサービス内容 / ▶TD処理加工(拡散浸透法)による表面処理 ▶ZACコーティング加工(化学緻密化法)による表面処理 ▶PTA処理加工(特殊粉体肉盛法)による表面処理

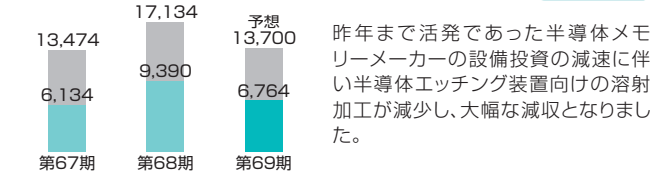


溶射加工

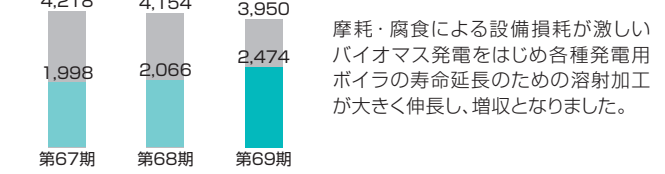
主なサービス内容 / ▶溶射加工による表面処理

「産業機械分野」や「鉄鋼分野」ではお客様の耐久性向上や品質向上に向けた取り組みの中で溶射皮膜の採用が広がりましたが、世界の半導体市場がメモリーの世界市場価格の低迷から調整局面入りしている影響を受け「半導体・FPD分野」の売上高が大きく落ち込んだことにより、当社の溶射加工は前年同期比で減収となりました。

半導体・FPD分野 前年同期比 **down 28.0%**

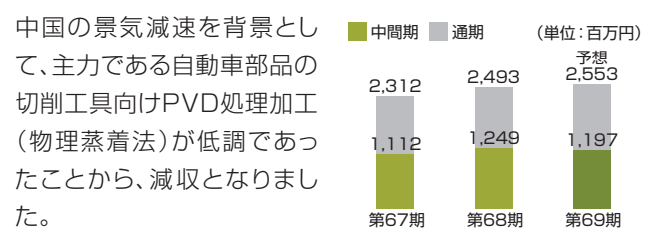


産業機械分野 前年同期比 **up 19.7%**



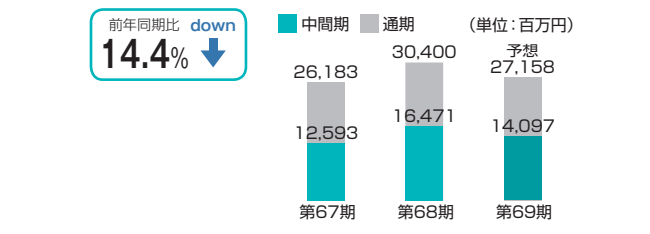
国内子会社 前年同期比 **down 4.2%**

会社名 / ▶日本コーティングセンター株式会社

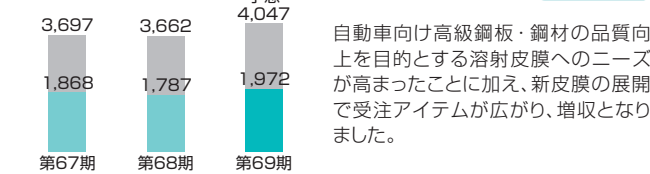


中国の景気減速を背景として、主力である自動車部品の切削工具向けPVD処理加工(物理蒸着法)が低調であったことから、減収となりました。

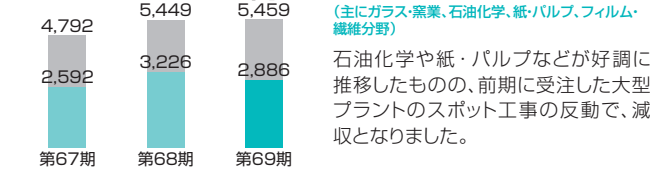
前年同期比 **down 14.4%**



鉄鋼分野 前年同期比 **up 10.3%**

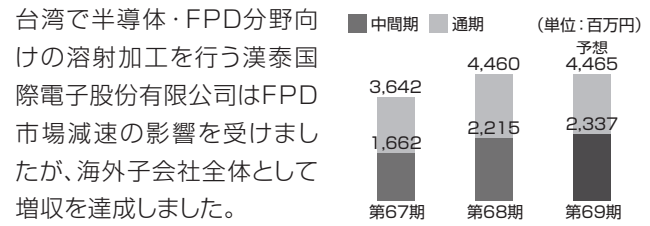


その他分野 前年同期比 **down 10.5%**



海外子会社 前年同期比 **up 5.5%**

会社名 / ▶東華隆(広州)表面改質技術有限公司 ▶東賀隆(昆山)電子有限公司 ▶漢泰國際電子股份有限公司 ▶TOCALO USA, Inc.



台湾で半導体・FPD分野向けの溶射加工を行う漢泰國際電子股份有限公司はFPD市場減速の影響を受けましたが、海外子会社全体として増収を達成しました。

トピックス TOPICS 個人投資家説明会へ出展しました。



当社ブースの様子

先般、8月23日(金)、8月24日(土)に東京ビッグサイトで開催されました日本経済新聞社主催の「第14回日経IR・個人投資家フェア2019」に出展いたしました。会期中は当社出展ブースにてミニ会社説明会を行い、非常に多くの投資家の皆様にお立ち寄りいただき、当社へのご理解を深めていただくことができました。今後も個人投資家説明会に継続して出展いたしますので、ぜひお越しください。



グループ会社紹介

中国の社会とユーザーに高付加価値を創造し続ける

2005年4月、トーカロ株式会社として初めての海外進出となった東華隆(広州)表面改質技術有限公司は、台湾の漢泰科技股份有限公司との共同出資により、中華人民共和国広東省広州市の永和経済技術開発区に設立されました。トーカロ株式会社の表面改質技術と長年のパートナーで中国ビジネスに精通している漢泰科技股份有限公司の技術が融合された会社です。

今やGDP世界第2位の経済大国となった中国の急激な経済発展に歩調を合わせ、当社においても2007年の操業開始から12年間にわたり、鉄鋼、石油、製紙等における生産設備部品の製作および補修、天然ガスプラントでの現地溶射補修工事等、多岐にわたる業界の多様な製造設備に対して溶射をメインとした表面改質技術を提供してまいりました。これからも、多くの顧客に対して高品質の表面処理を提供し、かつコスト削減、環境保護に貢献してまいります。



東華隆(広州)表面改質技術有限公司

所在地：中華人民共和国広東省広州市
 資本金：400万USD
 出資比率：トーカロ株式会社70%、漢泰科技股份有限公司30%
 設立：2005年4月
 事業所数：1工場
 従業員数：72名
 事業内容：溶射を中心とする表面処理加工

代表者(総経理)挨拶



総経理 符 积源

東華隆(広州)表面改質技術有限公司は、トーカロ株式会社が長年培った世界でも先端的かつ革新的な表面改質技術とその経験並びに精神を受け継ぎ、ここ中国にて操業しています。会社設立以来、トーカロの溶射技術をこの中国にて展開すべく努力し続けてまいりました。そして今、当社の顧客は各業界に広がっています。

今後も、私達は中国の社会発展と歩みを共にし、引き続き中国国内において競争力のある表面処理加工メーカーとして研鑽を積んで行く所存であります。

What's トーカロ

トーカロの溶射はすごいぞ! 溶射の技術でおにぎりもふっくら美味しい!

コンビニで買ったおにぎり美味しいね!
 そうね、最近ずいぶん美味しくなったわね。
 実はお父さんの会社の技術が、一役買っているんだ。
 どういうこと?
 IH釜でお米を炊いているから美味しいんだ。
 こんな感じ!

IHってよく聞くけど、意味はよく知らないわ。
 IHとはインダクション・ヒーティングの略で、電磁的に熱を作り出す技術だ。
IHのしくみ 鉄鍋の場合
 鍋
 渦電流
 コイル
 磁力線
 トッププレート
 大きな釜は軽くするためにアルミでできているんだ。アルミ釜は本来IHで加熱できないんだけど、磁石にくっつく材料を溶射して、アルミ釜をIH釜に変身させるんだ。

溶射イメージ
 磁石にくっつく材料
 加工対象物
 溶射装置
IH釜
 熱が広がる
 ガツ ガツ
 ガス釜
 熱が逃げにくい
 ガツ ガツ
 IH釜
 さらに、ガス釜に比べて調理場が暑くなりにくいから働く人にも優しいよ。
 これで、IH炊きしているので、美味しいご飯が食べられるのね!